

超党派「ママパパ議員連盟」の招聘で、内村直尚理事長がヒアリングにおいて講演しました

2023年2月1日(水)16時30分から参議院議員会館第4回会議室において、超党派「ママパパ議員連盟(略称:ママパパ議連)」第18回総会が開催された。ママパパ議連は、党派を超えた子育て世代の国会議員によって2018年3月に設立され、子育て政策の提言を主な活動としている。今回のテーマは、「妊婦及び母体の睡眠時間について考える」であった。野田聖子会長(自由民主党、衆議院)による開会挨拶の後、医師で厚生労働省子ども家庭局母子保健課長である山本圭子氏から、「母子健康手帳の見直し方針について」の報告があり、10年ぶりの改定において睡眠に関する記録欄が設けられた経緯や未就学児の睡眠指針が説明された。引き続き、睡眠学会へのヒアリングがあり、内村直尚理事長による「妊産婦および子どもの睡眠の重要性」と題する講演がなされた。招聘の経緯は、2022年11月に発足した超党派「国民の質の高い睡眠のための取り組みを促進する議員連盟(略称:睡眠議連)」にも参画し、ママパパ議連事務局長である伊藤孝恵氏(国民民主党、参議院)からの依頼を受けたものである。ヒアリングでの講演では、妊産婦の健康増進や生活の質(QOL)の向上と子育て支援の充実が、健やかな睡眠で未来を開くと結ばれるとともに、日本睡眠学会が目指している睡眠科の標榜を実現させて、睡眠医療のシステムを構築する重要性が示された。意見交換では、多くの参加者による質疑応答がなされ、白熱した議論が展開された。

また、ママパパ議連に出席していた睡眠議連幹事長である古川元久氏(国民民主党、衆議院)より、終了後に我々に、現在開催中の通常国会において、日本睡眠学会が提示した国会質問案に準拠して、睡眠議連からの質問が予定されている旨の説明があった。日程は、決定次第お知らせ頂くこととなったことを付記する。

このような活動は、日本睡眠学会の主張を関係各所に周知させ連携していくために有意義であり、今後とも継続していく必要があると考える。学会員諸兄のさらなる協力を申し上げる次第である。

【出席者】 敬称略

- ・ママパパ議連：会長・野田聖子(自民、衆)、副会長・蓮舫(立憲、参)、事務局長・伊藤孝恵(国民、参)、福島瑞穂(社民、衆)、仁木博文(無、衆、産婦人科医)、石井苗子(維新、参)、宮口治子(立憲、参)、三上えり(参)、水野もと子(立憲、参)、梅村みずほ(維新、参)、堂込麻紀子(無、参)、その他含め40名程度。
- ・睡眠議連：古川元久(国民民主党、衆)
- ・厚生労働省：山本圭子(子ども家庭局母子保健課長)、吉川裕貴(子ども家庭局母子保健課長補佐)
- ・日本睡眠学会：内村尚直(理事長)、千葉伸太郎(副理事長)、本多真(総務委員会委員長)、八木朝子(総務委員会副委員長)

2023年2月6日

山寺亘 (事務局長)